

磨き上げた武器は ユーザー目線に立った コーディネイトスキル



株式会社 フィルド
代表取締役

サイ トウ タカ ユキ
齋藤 貴之氏

〈プロフィール〉

昭和46年、札幌市生まれ。建築系の専門学校を卒業後、東京の建築設計事務所に入社。平成11年、(株)都市デザインシステム(本社:東京)に転職。平成17年、同社札幌オフィス開設に伴い、執行役員として赴任。平成20年、同社民事再生により、同年(株)フィルドを設立。

建築、不動産、
コンサルティング
三つの事業をインハウスで
有機的に展開する

建築設計・監理、不動産、企画・コンサルティングを事業の三本柱に据える(株)フィルド。齋藤社長をはじめとする設立メンバーは、もともと(株)都市デザインシステムの札幌オフィスのスタッフだ。前会社でのノウハウ、経験、そしてチームワークを活用・踏襲しながら、東京ブランドではない地場企業としての存在意義を鮮明に、地域に根ざした企業活動を展開している。

「以前勤めていた(株)都市デザインシステムでは、賃貸マンション、ホテル、オフィスビルなど、多くの企画開発、設計監理、監修業務や各種コンサルタント業務に係わらせていただきました。また、住人たちで組合をつくり集合住宅を建設する「コーポラティブハウス」を基幹事業としていたので、エンドユーザーの目線でさまざまな要望をコーディネートするスキルも磨かれました」と話す齋藤社長。

建築設計・監理事業では、ベストウエスタンホテル札幌中島公園の設計、監理や、函館青柳・谷地頭地区の戸

すぐに成果が見込めなくても 地道にコツコツ続けるしかない

建分譲地のグランドデザイン・住宅設計など豊富な実績を有し、デザイン性を重視した多彩なプランニング力に定評がある。また不動産事業では、賃貸マンションのバシフィックタワー札幌、清田区の戸建リノベーション住宅などをトータルプロデュース。

企画・設計・広告などを一貫し、付加価値を高めた仲介・売買を行っている。一昨年一月には、豊平区中の島に、東北以北では初となるソーシャルアパートメントをオープンし、注目を集めた。従来のワンルームマンションに+αの空間として豪華な「共用ラウンジ」を設け、個人ではそろえにくい高

級設備の共有に加え、年齢や職業、国籍を超えた交流が図られる、新しい住まいの提案である。同アパートは首都圏で実績豊富な(株)グローバルエージェンツと業務提携し、運営などを行っている。

「開口部を広く設けた横長の共用ラウンジは、キッチン・ダイニング、リビング、シアタールームと三つのスペースに区切り、シーンに合わせた使い分けが可能です。共用ラウンジから廊下を隔てた向かいには音楽演奏が可能な防音スタジオ、マッサージチェアや美顔器・イオンドライヤーなどを備えた女性専用のビューティールームを設けています。シェアハウスよりプライバシーが確保され、「気持ちのいい距離感」を保ちながら、コミュニティを広げていくことが可能です。今後は、ソーシャルアパートメントにゲストハウスや定食屋を一体化した、「現代版駅前旅館」のような施設をつくりたいと考えています。コミュニティの深まりが増す仕組みや場をつくり、それにより街の活性化につながることを

を望んでいます」と、齋藤社長は今後の展開プランを膨らませる。

六年間通って実現した まちづくりNPO法人

同社が手がける事業のひとつに、まちづくりコンサルティングがある。

具体的には十勝上士幌町の豊かな自然環境と観光資源を最大限に活用した観光プロデュースや、町有地の利活用のコンサルティングなど、自然・環境・食を中心とした新規事業の開発・運営、雇用促進を図り、町の活性化を推進している。一昨年六月には、同社の提案が実り、移住・定住を目的とした都市と農山村の対流事業を推進するNPO法人「上士幌コンシェルジュ」が設立された。同プロジェクトは、国交省「新たな公」のコミュニティ創生支援モデル事業に選定され、農水省「食と地域の絆づくり」大臣表彰も授賞した。

「廃校になった小学校校舎を利用して、地域の観光資源をネットワーク化した体験型ツーリズム「上士幌町林間学校」を主催し、首都圏の家族に町の魅力を伝えています。また、移住促進を図るための生活体験モデルハウスの企画設計、プロモーション

ン事業などにも携わっています。

このNPO法人は上士幌町に六年間通い続け、地域の方々とコミュニケーションを重ねて実現したものです。私は素晴らしいアイデアマンではないので、一見手間と時間の掛かることをコツコツやるしかありません。

最初に就職した設計事務所は小規模だったので、雑用も含めて全部やりました。すぐに成果がでなくても、「五年、十年続けるとこうなる」とイメージして続けることが必要だと実感しています。またそれを心折れずに持続できることが、私たちならではの優位性であると信じています。従来型のビジネスモデルにより事業拡大を目指すのではなく、ほかの人にはできない「手間と時間の掛かること」を地道に続ける。それにより社業発展、地域への貢献を果たしてまいります。



「ソーシャルアパートメント中の島」

開口部を広く設けた明るい共用ラウンジ(上)
楽器演奏が可能な防音スタジオ(下)

Information



▲上士幌町 居住生活体験モデルハウス

株式会社 フィルド

〒060-0801 札幌市中央区北3条西1丁目2 サンクビル3F

TEL 011-233-3101

http://www.phildo.co.jp/